令和８年度　校長より　⑪

10 年ぶりの創立記念式典には、全校生徒、現職教員、同窓会たちばな会、PTA が一堂に会して行われました。11 月 12 日（木）は、本校創立 120 周年記念式典を横須賀市文化会館で実施しました。前日には各クラスで 120 周年記念誌が生徒に配付され、開校以来の 120 年の歴史と伝統を確認しての参加となりました。冒頭、記念式典生徒実行委員会委員長から開式の言葉があり、その後、学校長の言葉、たちばな会会長の言葉、PTA 会長の言葉と続きました。私からは、本校の開校から今日までの歴史について、校舎と校歌と制服の変遷を中心にお話をさせていただいた後、生徒たちに向けて、「『先輩たちがそれぞれの時代の歴史をつくり、それを今日までつないで来てくれたからこそ、今の横須賀大津高校はある』との認識を持ち、本校の生徒としての自覚と責任を負い、これからの時代に向かい、挑み、自己の未来を開いていってほしい」とのメッセージを伝えさせていただきました。同窓会たちばな会や PTA の皆さんには、私が横須賀大津高校に着任してスタートした学校改革プロジェクトの現在までの状況をお伝えし、今後の本校の変容と生徒たちの活躍にご期待いただくとともに、引き続き本校へのご理解とご支援をお願いさせていただきました。記念公演では、本校を平成３年に卒業されたオペラ歌手によるコンサートが行われ、独唱のほかニ重唱や合唱などをご披露いただきました。会場内に響き渡るソプラノの歌声に、生徒たちからは「ブラボー！」の歓声があがり、会場からは盛大な拍手が送られました。その後、生徒実行委員会として、最初に本校の歴史を振り返る「大津の歴史」クイズが行われ、続いて校内で行われてきた記念事業について、「乙女の像」の修復、「十字の池」の」清掃と噴水修繕、「サルスベリ」の植樹と植栽の整備、「校歌歌碑」の着色などの紹介が行われ、これからのこととして、来年度新入生から着用予定の新制服の披露を行い、さらにデザインをしていただいた本校令和５年卒業 75 期生の先輩女性から、制作したコンセプトや細かなデザインについて解説をいただきました。在校生もリボンやネクタイを付けてよいとのお話を加えていただくと、会場から驚きの歓声があがりました。式典の最後には、たちばな会の皆さんから、開校以来４つある校歌のうちの３つ、「明治の校歌」「大正の校歌」「昭和の校歌」をご披露いただき、その後、指揮者と伴奏者が生徒に交代して、生徒、教職員、たちばな会の全員で、「現在の校歌」を歌いあげ、閉式の言葉により式典は終了となりました。生徒たちにとって本校の歴史と伝統の奥深さを感じる貴重な機会となりました。皆様方、誠に有難うございました。

令和８年 11 月

神奈川県立横須賀大津高等学校　校長　幸田　隆